

『新 論理国語』（論国 704）年間学習指導計画作成のための資料

科目  論理国語	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	
	使用教科書・副教材等	『新 論理国語』（三省堂）

I 部

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
4	導入	1	●言葉のはたらきを考える 「言葉は平等な内面を作り出す」	1 教材文を読む。 2 「言葉は平等な意味を作り出す」とはどういうことか、考えたことを話し合う。	<p><b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。</p>	<p><b>知識・技能</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p><b>思考・判断・表現</b> ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p><b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。</p> <p>例) 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解したり、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
4 5	1 論点を整理するために	7	●論点を明確にする 「若者に友達プレッシャー」	1 「友達プレッシャー」とはどのようなことか。まとめる。 2 「同輩集団以外の多様な関係を取り結ぶ環境を整えていくことではないか」(22・1)と言えるのはなぜか、説明する。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。
			●要旨を把握する 「自分を捉え直す」	1 筆者が「人間には、いくつもの顔がある。—私たちは、このことをまず肯定しよう」(25・1)と述べるのはなぜか、説明する。 2 『『本当の自分』という存在を、ここでも捏造してはならない』(28・8)のはなぜか、説明する。 3 「分人はすべて、『本当の自分』である」(30・6)とはどういうことか、まとめる。	<b>情報の扱い方</b> ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。	<b>思考・判断・表現</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。
			●内容や構成・論理の展開を捉える 「他者を理解する」	1 「それは感情の共振ということであっても他者の理解ではない」(34・3)のはなぜか、その内容を明らかにして説明する。 2 「わかる、理解するというのは、感情の一致、意見の一致をみるということではない」(36・12)とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。 3 「わからないままに身をさらし合う果てしないプロセス」(38・8)とは何か、説明する。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握すること。 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、読む(1)イ、の場合
		4	●情報を整理し活用する 「情報を整理する」	1 伝えたいことを明確にして、目的や意図に応じた適切な情報を収集する。 2 伝えたい情報を整理して、自分の考えを表現する。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> ア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。 ◆ア 特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>思考・判断・表現</b> ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ア、書く(1)ア、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「他者」 ※学びを深める「身体(の)疎外」		

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
6 7	2 正しく推論するために	7	●主張を支える根拠を捉える 「一人で爆笑」	1 『一人で爆笑する』という表現は誤りだ(57・6)という主張に対して、筆者はどのように反論しているか、まとめる。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。  <b>情報の扱い方</b> イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。 ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。  ◆イ 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。	<b>知識・技能</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。  <b>思考・判断・表現</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・〔知識・技能の評価規準〕+〔思考・判断・表現の評価規準〕+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例)言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ア、読む(1)イ、の場合
			●データを整理し書き手の意図を捉える 「カタカナ語は享受すべきか」	1 「カタカナ語は享受すべきか」という問いに対する筆者の考えを、本文にそって整理する。 2 『正しい日本語』『美しい日本語』の主張(68・9)とはどのようなものか、まとめる。 3 『外来語』の排斥(68・8)に対するあなたの考えをまとめる。		
			●結論を導くための論拠を捉える 「世界のあり方」	1 筆者が「ハサミ」の例を通して主張していることを説明する。 2 筆者が「世界像」という言葉を用いているのはなぜか、説明する。		
		4	●的確に伝える 「文章をリフォームする」	1 文章を修正し、より伝わるものにリフォームする。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。  ◆ウ 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <b>思考・判断・表現</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・〔知識・技能の評価規準〕+〔思考・判断・表現の評価規準〕+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例)論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)オ、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「言葉・言語」 ※学びを深める「言語は色眼鏡である」		

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
9 10	3 事例の意味を探るために	7	●主張を支える 「それぞれのしっくりくる言葉」	1 「それぞれのしっくりくる言葉」に「それぞれ」とあるのはなぜか。説明する。 2 筆者が事例をどのような順序であげているか整理し、その上でその効果を説明する。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 <b>情報の扱い方</b> ウ 推論の仕方について理解を深め使うこと。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。 ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。  ◆ウ 学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。	<b>知識・技能</b> ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 <b>思考・判断・表現</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めたり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ウ、読む(1)イ、の場合
			●事例を吟味する事例の役割と意味を捉える 「多様な視点から考える」	1 筆者はアニータ・サーキージアンによって何に気づかされたのか、まとめる。 2 本文で取りあげられている事例の役割とその効果を整理する。 3 「粘り強く対話を続けるしかない」(99・14)という筆者の主張について、話し合う。		
			●書き手の思考過程を検証する 「女性／男性だから〇〇」	1 筆者の指摘する「異質平等論」(104・9)の問題点を整理する。 2 筆者の考える「自由」とはどのようなものか、まとめる。		
		4	●根拠を明確にして考えを述べる 「意見を書く」	1 伝えたい内容の中心が明確になるよう、文章の構成や明確さを意識して意見をまとめる。 2 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。  ◆イ 設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>思考・判断・表現</b> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)イ、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「ジェンダー」 ※学びを深める「そして若者論は続く」		

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
11 12	4 構成を吟味し説得力を高めるために	7	●文章や論理の構成を捉える 「落語の中の経済学」	1 『「千両みかん」』の笑いのポイント(126・1)は、どのようなところにあるのか。筆者の考えを説明する。 2 「売買という交換によって人々は得をする」(127・4)のはなぜだろうか。筆者の考えを説明する。 3 東京版と上方版で「千両という値段をつける経緯が異なっている」(130・12)ことについて、筆者はどのように説明しているか。まとめる。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 <b>情報の扱い方</b> ウ 推論の仕方について理解を深め使うこと。	<b>知識・技能</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。
			●書き手の意図を捉える 「ホンモノのおカネの作り方」	1 「預り手形」(136・1)が金貨銀貨の代わりになるのはなぜか。その理由を二点あげて説明する。 2 具体例を手がかりに「ホンモノのおカネ」が生まれる「逆説の作用」(138・5)とは何か、まとめる。 3 「ホンモノのおカネを作る」(139・7)には何が必要か指摘する。 4 「陰鬱に科学するよりまかに道はない」(139・11)のはなぜか、話し合う。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	<b>思考・判断・表現</b> ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。
			●送り手の意図を捉え解釈を深める 「『展示』が伝えるもの」	1 「三つの柱」(142・3)はどのように実現されたか、整理する。 2 「この未来のためのさまざまな教訓」(151・2)とはどのようなものか、筆者の考えをまとめる。	◆エ 同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例)言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ア、読む(1)オ、の場合
4	●論拠を吟味し伝えたいことを明確にする 「レポートを書く」	1 情報を整理し、伝えたい内容を明確にして、レポートを書く。 2 レポートの構成を理解して、効果的に伝えるようにする。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。 ◆ウ 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>思考・判断・表現</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例)論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)エ、の場合		
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「経済」 ※学びを深める「インターネット的価値観」		

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
12 1	5 信頼性を吟味するために	7	●情報を分析する 「情報の内容を吟味する」	1 若者の勤労意識に関する調査結果を読んで、考えを述べ合う。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章 の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を 豊かにすること。 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構 造や論の形式など、文章の構成や展開の仕 方について理解を深めること。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章 の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を 豊かにしている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造 や論の形式など、文章の構成や展開の仕 方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層 化して整理する方法について理解を深め使 っている。
			●根拠や例示の適切さを確かめる 「なぜ私たちは労働するのか」	1 『やりがいのある仕事』という言葉は、年長 世代と若者世代の間では語義を異にしてい る(171・5)とあるがどういことか、整理しよ う。 2 「受験勉強とバイトという二種類の『ワーク』 の経験から導きだした労働観(173・14)と はどのようなものか。それぞれ説明する。 3 筆者の考える「労働の本質(174・14)とは どういことか、まとめる。	<b>情報の扱い方</b> イ 情報を重要度や抽象度などによって階層 化して整理する方法について理解を深め使 うこと。	<b>思考・判断・表現</b> ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判 的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性 を吟味して内容を解釈している。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場 や目的を考えながら、内容の解釈を深めて いる。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資 料を基に、必要な情報を関係付けて自分 の考えを広げたり深めたりしている。
			●論理の構成を理解する 「『すべり台社会』と『溜め』」	1 「すべり台社会(178・2)とは具体的にど ういことか、まとめる。 2 「『溜め』という言葉で語ってきた(183・ 1)とあるが「『溜め』とは何か、整理する。 3 アマルティア・センの引用は筆者の論点に どのような効果をもたらしているか、具体的 に説明する。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批 判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼 性を吟味して内容を解釈すること。 オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立 場や目的を考えながら、内容の解釈を深め ること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や 資料を基に、必要な情報を関係付けて自分 の考えを広げたり深めたりすること。  ◆エ 同じ事柄について異なる論点をもつ複 数の文章を読み比べ、それらを比較して論 じたり批評したりする活動。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の 評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、 自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章 の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を 豊かにしたり、主張を支える根拠や結論を 導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の 妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈し たりすることに向けた粘り強い取り組みを 行うとともに、自らの学習を調整しようとして いる。 ※知識及び技能(1)イ、読む(1)ウ、の場合
5	●立場や論点を明確にする 「投書を書く」	1 主張を支える論拠として情報の妥当性や 信頼性を吟味し、投書を書く。 2 読み手にわかりやすい表現の工夫をまと める。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章 の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を 豊かにすること。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、 自分の立場や論点を明確にして、主張を支 える適切な根拠をそろえること。  ◆イ 設定した題材について、分析した内容 を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考 察した内容を意見文などにまとめたりする活 動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章 の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を 豊かにしている。  <b>思考・判断・表現</b> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自 分の立場や論点を明確にして、主張を支 える適切な根拠をそろえている。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の 評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、 自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章 の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を 豊かにしたり、情報の妥当性や信頼性を吟 味しながら、自分の立場や論点を明確にし て、主張を支える適切な根拠をそろえたり することに向けた粘り強い取り組みを行うと ともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)イ、の場合		
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「働くということ」 ※学びを深める「コンクリートの時代」		

月	単元	配当時間	●教材のねらい「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
2 3	6 隠れた前提を探すために	7	●表現の仕方と書き手の意図との関係を捉える 「地球上の『旅人』」	1 「私にとってはどこもかしこも『アウェイ』…、それが実は心地よい。」(202・7～8)とあるが、なぜそのように考えるのか。筆者の幼少期の体験を整理しながら説明する。 2 筆者の考える「地球上の『旅人』」(205・11)とはどのように生きる人か、まとめる。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	<b>知識・技能</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。
			●さまざまな視点から評価する 「誰かの靴を履いてみること」	1 「誰かの靴を履いてみること」(210・5)とはどういうことか、まとめる。 2 「息子」との会話が本文にどのような効果をもたらしているか、まとめる。 3 「十一歳の子どもたちがエンパシーについて学んでいるというのは特筆に値する」(213・12)と述べる筆者の思いを説明する。	<b>情報の扱い方</b> ウ 推論の仕方について理解を深め使うこと。	<b>思考・判断・表現</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。
			●論拠を批判的に検討する 「スポーツとナショナリズム」	1 「このようにオリンピックや……見いだされる。」(218・2,3)とあるが、「スポーツとナショナリズムとの密接な関係」とはどのようなことか。本文の具体例に基づいて説明する。 2 スポーツにおけるナショナリズムが『野蛮化』に結びつく危うさを常に持ち合わせている」(222・14)のはなぜか。その理由を説明する。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。 エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。  ◆ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例)言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)ア、読む(1)イ、の場合
		5	●立場の異なる読み手を説得する 「レビューを書く」	1 レビューについて知る。 2 伝えたい情報を整理して、身近な事柄をレビューする。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。  ◆イ 設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <b>思考・判断・表現</b> ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例)論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)ウ、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点グローバル化 ※学びを深める『文化が違う』とは何を意味するのか？」		

Ⅱ部

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
4 ～ 6	7 具体と抽象の 関係を理解する ために	11	●文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈する 「人類による環境への影響」	1 筆者の考える「共生型戦略」(239・7)と「征服型戦略」(239・7)について、それぞれ整理する。 2 「人類は現在、……利用しているのだろうか」(245・12)とあるが、その利用状況について整理する。 3 「生態系の跳躍的変化によるカタストロフを避ける」(247・4)ためにはどのようなことが必要だろうか、話し合う。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。
			●多様な論点を結びつける 「この十年をどう生きるか」	1 「ギリギリの瀬戸際」(252・5)と言えるのはなぜか、まとめる。 2 「パラダイムシフト」が「日本のチャンス」(254・2)になるのはなぜか、説明する。	<b>情報の扱い方</b> ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。	<b>思考・判断・表現</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。
			●必要な情報を関係づける 「プラスチックごみについて考える」	1 「プラスチックごみ問題」に関わるデータをもとに、自分の意見を表明する。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。 エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。  ◆ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、読む(1)イ、の場合
		6	●考えを相対化する 「説得力のある文章を書く」	1 多面的・多角的な視点から文章を見直す。 2 想定した反論をふまえ、より説得力のある文章に書き換える。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。  ◆エ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <b>思考・判断・表現</b> ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)カ、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「環境」 ※学びを深める「『である』ことと『する』こと」		



月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
7 ～ 9	8 批評するために	11	●批評する 「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」	1 「映像が強い影響力をもった背景」(282・4)はどのようなものがあるか、説明する。 2 「映像の登場により、人類は本当の意味でのグローバルコンテンツを手に入れた」(283・4)とはどういうことか、整理する。 3 筆者は〈自動車〉と〈映像〉が「二十世紀の社会を作った」(280・1)と述べているが、現代の社会を作りあげたものとして他にどのようなものがあるか。具体例をあげ、その功罪を指摘する。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 <b>情報の扱い方</b> イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。 オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。  ◆イ 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 <b>思考・判断・表現</b> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、読む(1)エ、の場合
			●批判的に検討する 「言語ゲームと哲学的態度」	1 「このマンガのほんとうのおもしろさ」(287・3)とは何か、まとめる。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。  ◆イ 設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>思考・判断・表現</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)オ、の場合
			●書き手の立場や目的を考える 「日本マンガのブルーオーシャン戦略」	1 「ブルーオーシャン戦略」(292・1)とは何か、まとめる。 2 図表1～3は本文の理解にどのような効果をもたらしているだろうか、説明する。 3 「戦後日本の出版社がマンガの展開にこだわってきた手法」(293・15)が「ブルーオーシャン戦略」であると言える根拠を整理する。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。  ◆イ 設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>思考・判断・表現</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)オ、の場合
		6	●論理の明晰さを確かめる 「報告文を書く」	1 身のまわりから「行きて帰りし物語」の例を探して、「誰」が「どこ」から「どこ」に行き帰ってくるか、「行きて帰りし」ことで登場人物にならなかの変化が生じたかどうかなどを調べ、報告文を書く。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。  ◆イ 設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>思考・判断・表現</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)オ、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「文化・芸術」 ※学びを深める「ミロのヴィーナス」		

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
10 12	9 情報に関連づけ自分の解釈を形成するために	11	●必要な情報を関係づける 「学びとは何か」	1 「創造性」についての筆者の考えを、各節ごとに具体例をもとにまとめる。 2 「ケプラー」と「ブラーエ」を対照させることで筆者は何を述べようとしているか、説明する。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 <b>情報の扱い方</b> イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 <b>思考・判断・表現</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。
			●考えを広げたり深めたりする 「『知る』ということ」	1 「意味のはつきりした……知っている、ということが出来る」(326・15～327・2)のはなぜか。筆者の説明を整理する。 2 「どうすれば、規則を知ることができるだろうか」(329・6)とあるが、その方法を筆者はどのように述べているか、まとめる。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。  ◆オ 関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、読む(1)ア、の場合
			●内容の解釈を深める 「文系と理系の壁はあるか」	1 「サイショウさんは……どうしてこんなに科学の取材ができるのですか」(334・6)という言葉、筆者はどのようなものとして受け止めているか、まとめる。 2 筆者がイアン・ウイルマット博士の言葉を取りあげたのはなぜか、説明する。		
		6	●主張が的確に伝わるか吟味し修正する 「自己推薦文を書く」	1 志望理由書を分析し、何を書いていくことが求められるか考える。 2 分析したことをもとに、構成メモを作る。 3 メモをもとによりよい志望理由書にする。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。  ◆エ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <b>思考・判断・表現</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫したりすることにに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)ア、の場合
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「知のあり方」 ※学びを深める「多様な知識の組み合わせを」		

月	単元	配当時間	●教材のねらい 「教材名」	学習活動	学習指導要領の指導事項 ◆言語活動例	評価規準
1 3	10 解釈を広げたり深めたりするために	11	●考えを広げたり深めたりする 「科学には限界があるか」	1 「素朴な科学万能主義を信ずることはできない」(357・2)のはなぜか、筆者の考えを整理する。 2 「科学の本質的な部分が事実の確認と、諸事実の間の関連を表す法則の定立にある」(357・7)とはどういうことか、まとめる。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。
			●自分の考えを捉え直す 「未来のありか」	1 「一九七〇年、日本最初の国際博覧会である日本万国博覧会」(362・1)の事例を通じて筆者はどのようなことを説明しようとしているのか、まとめる。 2 「『未来、はそのようにして、現在時の中に存在することができる』(365・4)とはどういうことか、説明する。	<b>情報の扱い方</b> イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。	<b>思考・判断・表現</b> ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。
			●新たな観点から自分の考えを深める 「リスク社会論」	1 本文の四つの節をそれぞれ要約して、小見出しをつける。 2 「リスクは、再帰的近代に至らなければ、ここかしこに見いだされるような状態にはならない」(372・6)のはなぜか、説明する。 3 「リスク社会のリスクには、二つの顕著な特徴がある」(372・12)、とあるがどうか、まとめる。 4 「リスク社会は、古代ギリシア以来の倫理の基本を否定してしまう」(374・7)とはどういうことか、まとめる。 5 「『知』と『倫理的・政治的決定』との間の断絶があからさまなものになってしまう」(376・3)のはなぜか、説明する。	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>読む</b> オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、読む(1)オ、の場合
	6	●学習をいかして書く 「卒業論文を書く」	1 テーマを決める。 2 執筆の手順に従って実際に論文を書く。 3 論文を仕上げる。	<b>知識及び技能</b> <b>言葉の特徴や使い方</b> イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>思考力、判断力、表現力等</b> <b>書く</b> エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。 ◆エ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。	<b>知識・技能</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <b>思考・判断・表現</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・【知識・技能の評価規準】+【思考・判断・表現の評価規準】+「粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている」。 例) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 ※知識及び技能(1)イ、書く(1)ア、の場合	
			「振り返る」	1 適宜、課題に取り組む。 ※探究の視点「認識と実践」		